

セキュリティ・テクノロジーのリーディングカンパニーである、マカフィー社のテクニカルマーケティング(TME) 研究所は、インフォトレンドの ESVA ソリューションによる仮想化でストレージ環境の簡素化とストレージ管理の一点集中管理を実現しています。

オーガニゼーション

マカフィー社テクニカルマーケティング(TME)研究所(以下「マカフィーTME 研究所」と表記)

チャレンジ

マカフィーTME 研究所は、ストレージ環境の簡素化と、マネージメントの一点集中管理を目指しました。

ソリューション

インフォトレンドの ESVA E20 により、マカフィーTME 研究所は、ストレージ環境を現行の IP ネットワークを活用した、高い信頼性と柔軟性を持つ iSCSI SAN に統合することが出来ました。またこの環境では拡張ユニットを追加する事で、ESVA E20 一台につき最大 64 本の SATA ドライブまたは SAS ドライブによるスケールアップも可能になりました。

複雑なストレージインフラストラクチャを様々なポイントの全ての場所から管理する為には、マカフィーTME 研究所は投資効率を最適化し、アプリケーション性能を最大化すると同時に IT マネージャーの業務の簡素化に注意する必要がありました。マカフィーTME 研究所はストレージインフラストラクチャを再構築する最適な方法を求めてインフォトレンドの代理店である aXcelerate Networks 社に相談しました。aXcelerate Networks 社はインフォトレンドの ESVA を、ストレージインフラストラクチャのスケラビリティや価格対パフォーマンス比などで非常に優れたストレージソリューションであるとしてマカフィーTME 研究所に推奨しました。

チャレンジ:複数のストレージ・システムの管理を一点にまとめた集中管理を実現

マカフィーTME 研究所は、これまで複数のストレージ・システムを構築し、それぞれのストレージに対して異なる管理インターフェースを使っていました。しかし構成をダイレクト・アタッチド・ストレージ(DAS)から、ストレージエリアネットワーク(SAN)に変更するにあたり、より最適なソリューションを探していました。DAS はシステム管理に負荷が掛かるため、マカフィーTME 研究所は非常勤の専任管理者を雇用していました。しかし SAN ソリューションを構築すれば、マカフィーTME 研究所は複数のサーバーに高速で大容量のドライブを活用する事が出来ますし、リソース配置や投資の最適化も実現可能となります。

ソリューションにより得る利益:高性能で信頼性の高い かつエネルギー効率の高い ESVA E20 は仮想化機能により より多くのドライブ容量を提供可能です。

インフォトレンドの ESVA (Enterprise Scalable Virtualized Architecture) は、マカフィーTME 研究所にインストールされ仮想化環境でのストレージのドライブ容量を提供しています。これにより、複数のゲスト・オペレーティングシステムが同時に VMware のデータストア (VMFS) にフォーマットされた一つのストレージ・プールで稼働しています。

ESVA にはストレージの構成や管理機能を簡単に設定出来る機能があり、高信頼性と高いパフォーマンスと合わせて 貴重な管理者の時間の節約とリソースの有効活用が可能です。新しく構築された SAN インフラストラクチャでは 8 台の VMware ESX サーバーを ESVA に接続しています。このような仮想化機能により、マカフィーTME 研究所は現在、全ての仮想マシンを一カ所で集中管理出来るようになりました。ESVA のストレージ仮想化機能はブロックレベルで稼働し、ホスト側の作業負荷を軽減すると共に 中断やダウンタイムやサーバーの性能低下等の影響から保護されています。

仮想化 SAN インフラストラクチャとインフォトレンドの ESVA E20 を組み合わせることで下記が実現出来ます。

- ・シンプルな集中管理機能
- ・高いパフォーマンスと高い信頼性
- ・将来の成長に備えた高い拡張性
- ・高い価格パフォーマンス比とより高められた ROI

柔軟な拡張性を備えた ESVA により、マカフィーのTME 研究所ではデータの増加に伴い ESVA システムを仮想化ストレージ・プールに追加するだけでドライブ容量を増加することが出来ます。因みに、一つの仮想化ストレージ・プールにはドライブを 768 個まで追加する事が出来ます。さらに、ESVA ではマカフィーのTME 研究所内でのキャビネットのスペースの低減や、エネルギー消費の削減も実現し リソースと人件費を最大 60%まで削減出来ました。

スケラブルな仮想化アーキテクチャでストレージ性能のさらなる要求に応えます

スケラブルな仮想化ストレージアーキテクチャに基づく ESVA は、プール化された記憶容量と帯域幅の最も効果的な利用環境を提供します。更に ESVA はハイエンドのストレージ・システムでしか提供されない高いスループット性能を、ミッドレンジのストレージ並みの手頃な価格で提供します。

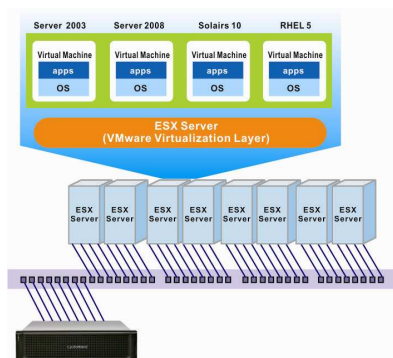
操作しやすい管理機能により時間の短縮が可能

インフォトレンドの ESVA で構成されたストレージ・プールでは管理が大幅にシンプル化され 集中的に管理出来るようになりました。また、ストレージ・プールの拡大や縮小もアプリケーション・サービス中断の必要なく簡単に行う事が出来ます。これはつまり、より大規模な容量を必要とする時にも、拡張ユニットを接続してスケールアップするだけで簡単に容量の増加が可能という事です。さらに、新たに ESVA システムを追加する事で、ロードバランス分散技術によりサーバーに負荷をほとんど掛ける事無く メンバー構成されたストレージ・システム間のワークロードを自動で効率的に分散処理が実現可能です。



“私たちマカフィーTME 研究所において インフォトレンドの新しい ESVA システムの環境構築は早く全く問題なく出来ました。構築を済まし ESVA を稼働すればすぐにメリットが実現出来ます。マカフィーTME 研究所では、これまで其々の DAS を別々に管理してきました。しかし現在、ESVA システムによる集中管理によって全てのストレージ・システムを集中管理する事が出来るようになりました。また、ESVA システムは記録されるデータ量の増加に伴ってドライブの空き領域を割り当てたり、使用していない領域は回収して空き領域として管理することが出来るのです。”

— Tony Zirnoon, マカフィーTME 研究所



McAfee's TME Lab Storage Environment